



徳島県立中央病院
TOKUSHIMA PREFECTURAL CENTRAL HOSPITAL

住所 | 〒770-8539 徳島県徳島市蔵本町1丁目10-3

TEL | 088-631-7151 (代表)

E-Mail | kenshu@tph.gr.jp

- JR徳島線「蔵本駅」より徒歩10分
- 徳島自動車道・藍住ICより県道1号経由にて車で7km・約15分



令和7年度 初期臨床研修プログラム

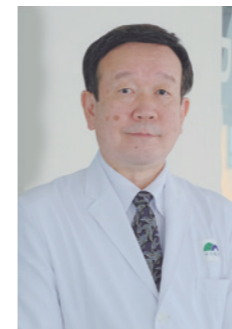
JCEP Japan Council for Evaluation of Postgraduate Clinical Training 卒後臨床研修評価機構認定病院 徳島県立中央病院



病 信 県
院 頼 民
と さ に
な れ 親
る る し
ま れ



ご挨拶



徳島県立中央病院
病院長
ハク タカシ
葉久 貴司

医学・医療の進歩はめざましく、求められる知識や技術も極めて高度化、複雑化、多様化しています。徳島県立中央病院での初期臨床研修を通して、医師に求められる医のマインドと基本となる診療能力を身に付けていただきたいと思います。初期臨床研修は、医療を求める人々を全人的に理解し、安全・安心な医療を提供できるようになるためのものであり、日々の学びに何一つ無駄なことはありません。中でも、感染症に適切に対応できる能力を習得することは、将来どの専門科に進んでも重要です。また、急患の受け入れは医の原点であり、特に救急外来は、多職種協働によるチーム医療を実践する場であることから、次のステップに繋がる多くの学びを得ることができます。医師としての責任を自覚し、5年後、10年後を見据えて研修され、社会へ貢献できる医師に成長されることを期待しています。

社会へ貢献できる医師を
共に目指しましょう



臨床研修管理委員会
委員長(消化器内科部長)
オモヤ トシヒロ
面家 敏宏

生成AI、5G遠隔診療などIT技術、外科手術支援ロボティクスなどが進化し、医師に求められるプロフェッショナリズムが重要となるなか、基本的な医療技能を習得するために、初期研修は非常に重要です。優れた研修は、将来の臨床能力の発展に大きく貢献します。隣接した大学病院とともに総合メディカルゾーンを構成する当院では、屋根瓦式の教え教えられるチーム指導体制を整えています。EBMに基づいた、透明性のある、患者さんに優しい全人的医療を目標に、科学的で、個々の研修医に着目した人間性豊かな指導ができる、経験豊富な専門医資格をもつ研修指導医が多数在籍してシームレスな医師養成を行います。自らを高める姿勢をもったみなさんのお越しを心よりお待ちしております。

AIと共存する医師として

“強くて優しい病院づくり”

“強くて優しい病院づくり”を基本コンセプトとして、救急、がん、周産期、小児、精神を中心に、高度先進医療全般にかかわる急性期病院として、また基幹災害拠点病院として、更なる進化を目指していきます。



強い

断らない紹介・救急
24時間急性期病院

優しい

患者・家族に
地域連携病院に
仲間・スタッフに

当院について

災害医療

- ・災害拠点基幹病院
自衛隊救難ヘリが着陸可能な大型ヘリポート
免震構造・災害備蓄倉庫、非常用自家発電装置
医療ガス設備を配置した幅広いトリアージスペース
- ・DMAT(災害派遣医療チーム)
- ・災害拠点精神科病院
- ・DPAT(災害派遣精神医療チーム)

精神医療

- ・精神科救急・合併症受入病院
精神科疾患全般を対象とした診療
急性期病院型総合病院として身体合併症に対応
- ・認知症ケアチーム・リエゾンチーム
- ・基幹型認知症疾患医療センター

小児医療

- ・小児救急医療拠点病院
紹介患者及び救急搬送患者に対応(24時間365日)

がん治療

- ・地域がん診療連携拠点病院
高精度放射線治療装置(リニアック)
ダ・ヴィンチ(手術支援ロボット)
PET-CT・内視鏡手術・放射線治療・化学療法など
幅広い専門的医療
- ・がん診療支援センター
緩和ケア外来
セカンドオピニオン外来
県民公開講座

周産期医療

- ・地域周産期母子医療センター
NICU・GCU:リスクのある妊娠に対する
医療や新生児医療の実施
LDR室(居住型分娩室)

救命救急医療

- ・救命救急センター
手術部門・集中治療部門との連携
- ・総合診療科
- ・ドクターヘリ基地病院
- ・小児救急医療拠点病院
- ・外傷センター

臨床研修病院として

#1 理念

患者に信頼される医師となるため、医師として人格を涵養し、基本的な診療能力と全人的医療を行う臨床力を身につけることを理念としています。

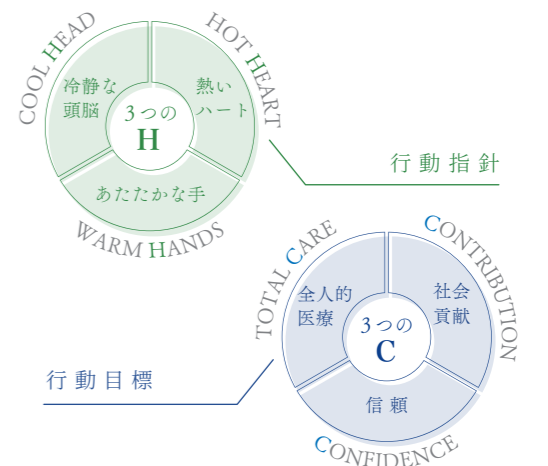
#2 基本方針

- ・プライマリケアの基本的な診療能力(知識・態度・技能)を身につけ、幅広い疾患に対応できる能力を養う。
- ・疾病の治療において、一人の尊厳ある個人として患者を全人的に診る能力を身につける。
- ・患者への慈愛の心を培い、信頼される医師として、チーム医療を実践し、社会に貢献することに努める。
- ・日本及び世界の医療に貢献できる医師を目指す。

#3 役割・機能

県民に支えられた地域医療の先導的な役割を果たす病院として、患者さんを中心としたチーム医療を実践し、高い倫理性に基づいた世界水準の医療を提供し、医療文化向上のための人材を育成します。

#4 指針と目標



#5 総合メディカルゾーン構想

県立中央病院と徳島大学病院が隣接している強みを生かし「総合メディカルゾーン」として医療や教育など積極的に連携をすすめています。

概要と臨床指標

令和6年1月1日現在

病床数	460床 (一般病床390床、結核病床5床、感染症病床5床、精神病床60床)		
診療科	呼吸器内科 消化器内科 循環器内科 脳神経内科 血液内科 糖尿病・代謝内科 外科 心臓血管外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 精神科 小児科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 放射線科 病理診断科 臨床腫瘍科 救急科 麻酔科 歯科口腔外科 総合診療科 集中治療科		
主な医療機器	ダ・ヴィンチ(手術支援ロボット) リニアック2台 PET-CT SPECT MRI(3.0T及び1.5T) CT(256列及び128列) DSA装置3台(パイプラインDSA2台、IVR-CT1台)		
臨床指標 (令和5年実績)	一日平均入院患者数	311.9人	救急医療 3次救急(救命救急センター) 救急患者総数 10,929件 うち救急搬送受入数 4,738件 ドクターヘリ出動件数 485件 ドクターカー出動件数 201件
	一日平均外来患者数	509.1人	
	平均在院日数	10.6日 11.2日(精神科含む)	
	年間手術件数	4,905件	
	分娩件数	183件	





初期臨床研修医1年次
オオシマ ユミ
大島 優実

Q. 今後チャレンジしたいことは？

A. 韓国語の勉強

Q. OFF TIMEの過ごし方を教えて！

A. 旅行・カラオケ

多くの診療科で症例経験を積む

こんにちは。初期臨床研修医1年次の大島優実です。マッチングに向けて、皆さん研修先の病院を選ぶ際に、何を基準に選べば良いのか迷われていることと思います。

当院は一次救急から三次救急までの対応を行い、かつほぼ全ての診療科を有しています。中でも救急外来では、研修医がファーストタッチを行い、指導医の先生方の指導のもと、問診から検査・治療方針を考える力を養うことができます。私は地域枠学生であり、3年間三好や海部などの地域の病院で働くこととなっています。2年間の初期臨床研修を終えた後に、地域の病院で自分が救急対応を行う際にも、少しでも自信を持って診療を行えるよう、救急対応をはじめ多くの症例経験を積み、医師として成長したいと考えたため、徳島県立中央病院を研修先として希望致しました。実際に働き始めてからも、指導医の先生方はじめ2年次の研修医の先生方、他職種の方々にも助けていただきながら、とても充実した研修生活を送っています。

少しでも当院での研修に興味がある方は、ぜひ一度見学に来てみてください。当院での診療の雰囲気を実際に肌で感じることができると思います。皆さんと一緒に働けるのを楽しみにしています。



初期臨床研修医1年次
ミツラ ケンタ
三倉 健太

Q. 今後チャレンジしたいことは？

A. 投資

Q. OFF TIMEの過ごし方を教えて！

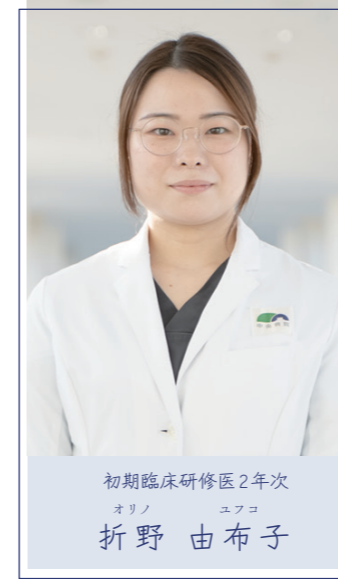
A. スポーツ観戦・映画鑑賞

気軽に何でも相談できる環境

初期臨床研修医1年次の三倉健太です。初期臨床研修の病院を選ぶのに、悩まれていることと思います。そこで、徳島県立中央病院の初期臨床研修病院としての特徴を3点紹介したいと思います。

1つ目は、病院内に多くの診療科が揃っていることです。進む診療科が決まっている方もそうでない方も2年間色々な診療科をまわることができ、幅広い症例を経験できます。2つ目は、救急外来で1次救急から3次救急までのファーストタッチができることです。救急科を研修中はもちろんですが、当直業務中も上級医や2年次の先生方の手厚い指導を受けられます。初期臨床研修の2年間でプライマリケアをしっかりできるようになりたいと考えている方におすすめです。そして、2年次には徳島県で唯一のドクターヘリ研修も可能となっています。3つ目は、多職種との距離感が近いことです。職員同士がすれ違うときなどに挨拶をする習慣があります。多くの職種の方と話しやすい環境で、気軽に何でも相談できる環境です。

このような特徴がある徳島県立中央病院に興味を持っていただけた方はぜひ一度病院見学に来てみてください。皆さまと一緒に働くことを楽しみにしております。



初期臨床研修医2年次
オリノ ユフコ
折野 由布子

Q. 今後チャレンジしたいことは？

A. 海釣り

Q. OFF TIMEの過ごし方を教えて！

A. ゲーム・映画鑑賞

症例数の多さと疾患の幅広さが魅力

医学生の皆さんこんにちは。初期臨床研修医2年次の折野由布子です。

日々の勉強大変ですよね。たまには友人と遊んだり、部屋でコーヒーを飲みながら好きな映画を見るなど息抜きも大事にしてくださいね。

さて、この度は当院のパンフレットを手にとっていただき有難うございます。私が当院を初期研修の場を選んだのは、三次救急を担う病院ならではの症例数の多さと疾患の幅が広いというところに魅力を感じたからです。また、当院は徳島県内唯一のドクターヘリ基地病院であり県内各地、時には淡路島や大阪などへ出勤・患者搬送を行うこともあります。2年次からはドクターヘリOn The Job Training(OJT)といって指導医の先生とともにドクターヘリに搭乗する研修を行うことができます。

ローテートの実際は、一年次に内科・外科・救急科のメジャー科、二年次に産婦人科・小児科・精神科・選択科で研修を行います。これらの研修を行いながら月4回の日当直業務を行います。今でもわからないことや不安なことだらけですが、指導医の先生方や看護師さんを始めとするコメディカルの方々がとても優しく楽しく研修ができる病院です。是非、当院を初期研修先を選んでみてください！



初期臨床研修医2年次
キタ ヒロキ
喜多 大樹

Q. 今後チャレンジしたいことは？

A. 旅行好きなので47都道府県制覇！

Q. OFF TIMEの過ごし方を教えて！

A. ドライブ・料理

研修医が成長できる環境がある

初期臨床研修医2年次の喜多大樹です。医学生のみなさまはこれからマッチングを控え、どの病院で研修するかについて大変悩まれていると思います。約2年間、徳島県立中央病院で研修して、私なりに感じたことをお話しさせてもらえたらと思います。

私が県中で研修して最もよかったと感じる点は、研修医を育てようとしてくれる環境があることです。当院は県の基幹病院であり、高度救命救急センターも併設されているため1次救急から3次救急まで様々な重症度の患者さんが搬送されます。救急外来では研修医は主に初期対応を学ぶことができます。バイタルサインを適切に評価し、病歴聴取を行ってその先の検査・診断・治療方針に結び付く大切な部分です。とても難しく感じるかもしれませんが、先生方やスタッフの方々がとてもやさしく、基礎から丁寧に教えてくださいます。また、研修医であっても気管挿管や上部消化管内視鏡などの手技も経験することができます。入院から退院まで学べることは多くあり、積極的に求めれば、たくさんの貴重な経験が得られ、どんどん成長できる環境であると思います。

初期研修は医者人生のスタート地点である大事な2年間です。この素晴らしい環境で、貴重な経験をしてもらえたらと思います。お待ちしております。

基幹型初期臨床研修

● 令和7年度 臨床力養成プログラム

1年次	12ヶ月	必修科目A	・救急科2ヶ月 ・総合診療科1ヶ月 ・外科2ヶ月 ・内科系7ヶ月（循環器、呼吸器、消化器、血液、糖尿病・代謝から3診療科各1ヶ月、2診療科各2ヶ月）
2年次	7ヶ月	必修科目B	・地域研修2ヶ月（三好病院、海部病院、上那賀病院） ・救急科、総合診療科、小児科、産婦人科、精神科を各1ヶ月
	5ヶ月	選択科目	・23診療科、集中治療（徳島大学病院）から1ヶ月単位で自由に選択 ・四国他県中央病院及び鳴門病院での1週間の研修が可能（愛媛県立中央病院、香川県立中央病院、高知医療センター、鳴門病院）

● ローテーション例

1年次では内科・外科・救急科をローテーション

初期臨床研修医 1年次 西村 郁海

現場で学びながら、医師としての土台をしっかりと築こう！

1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ローテーション例	循環器内科	血液内科	糖尿病・代謝内科	総合診療科	消化器内科	外科	救急科	呼吸器内科				

学生との違いに戸惑いながらも研修スタート。カテーテル検査の介助や心エコーの操作を理解しよう。

腰椎穿刺や骨髄穿刺等の手技を習得しよう。回診ではプレゼンテーションの方法も学ぶ。

糖尿病の治療である食事、運動、薬物療法を理解し、患者さんにわかりやすく説明しよう。

主治医として患者さんの検査や処方といった治療方針を考え、病棟管理を学ぶ。

内視鏡室で処置や透視の介助をする。カメラ操作や腹水穿刺などの手技も習得しよう。

カメラを持って術者のサポートする。縫合の仕方や術後管理も理解しよう。

軽症から重症までいろんな患者さんが来るなかで、自分が何をすればよいか学ぼう。

4月と比較して成長できたかな。気管支鏡の操作や胸水穿刺などの手技を習得しよう。

1年次の経験を活かし、2年次ではさらに経験の幅を広げられます

初期臨床研修医 2年次 後藤 大貴

様々な診療科を経験して地域医療でブラッシュアップ！

2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月
ローテーション例	消化器内科	精神科	小児科	産婦人科	整形外科	脳神経内科

実際に内視鏡の検査をできる。指導の下、コツをつかんで上達しよう。

問診の大切を改めて実感できる。精神科の救急疾患を診れるのも強み。

大人との違いに戸惑いながらも、子どもが元気になる姿にやりがいを感じる。

出産に立ち会える貴重な機会。婦人科疾患ではロボット支援下で手術することも。

骨折から脊椎疾患まで幅広い手術を経験できる。骨折ではシーネ固定できるかな？

脳梗塞は様々な主訴でやってくる。正しく神経診察をできるようになる。

10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合診療科	救急科	麻酔科	三好病院	育休	

主治医として検査・治療・病状説明を行う。これまでの研修での経験を活かそう。

重症患者でも臆さず診察できるように。希望すればドクターヘリに乗ることも。

気管挿管は実践あるのみ。手技の上達を実感できる日々。全身管理に自信がつくかも。

地域医療に触れ、急性期病院との違いを学ぶ。地域と密接に関われる機会。

研修医でも産休・育休を取得しやすい環境。サポートも充実しているよ。



● 初期臨床研修医の1日（消化器内科研修）



初期臨床研修医1年次
カド マイ
角 真衣

私の1日のスケジュールをご紹介します。ぜひ参考にしてみてください。
自分自身が持つ医師像を目指して、研修に励んで下さい！

- 8:20 出勤**
カルテで担当患者さんの夜間の経過を看護記録で確認し、経過表でバイタルサインを確認します。
- 8:30 回診**
患者さんに体調を聴いたり、腹部や四肢の状態を診察したりします。患者さんとの時間をできるだけとるように心がけています。
- 9:00 内視鏡検査**
内視鏡室に行き、EMR、ESD、ERCPなどの介助を行います。空いた時間でカルテを記載します。
- 16:00 回診**
朝と比べて患者さんの様子に変化がないかどうか、問診・診察をします。次の日の点滴や処方が切れている際は指導医の先生に相談して処方します。
- 17:15 業務終了**
週に1回、カンファレンスがある日以外は17時15分に業務を終え、帰宅しています。しっかり休養し、明日の業務に備えます。



● 臨床研修実績

令和6年1月1日現在

年次	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			
	1年次	2年次	後期研修医	1年次	2年次	後期研修医	1年次	2年次	後期研修医	1年次	2年次	後期研修医	
人数 (初期は基幹医)	5名	15名	10名	13名	4名	13名	10名	13名	13名	10名	13名	14名	
出身大学	徳島大学 自治医科大学 滋賀医科大学	徳島大学 自治医科大学 香川大学 広島大学	徳島大学 自治医科大学	徳島大学 自治医科大学 香川大学 鳥取大学 帝京大学	徳島大学 自治医科大学 滋賀医科大学	徳島大学 自治医科大学 愛知医科大学 金沢医科大学	徳島大学 自治医科大学 帝京大学	徳島大学 自治医科大学 香川大学 鳥取大学 帝京大学	徳島大学 香川大学 自治医科大学 兵庫医科大学	徳島大学 自治医科大学 帝京大学	徳島大学 自治医科大学 香川大学 鳥取大学 帝京大学	徳島大学 香川大学 自治医科大学 兵庫医科大学	徳島大学 香川大学 自治医科大学 兵庫医科大学

● 医師数（初期臨床研修医を除く）

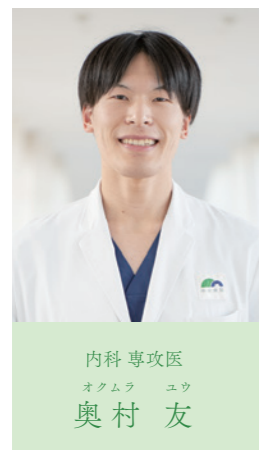
令和6年1月1日現在

診療科名 (所属名)	呼吸器内科	消化器内科	循環器内科	脳神経内科	血液内科	糖尿病・代謝内科	外科	心臓血管外科	脳神経外科	整形外科	形成外科	精神科	小児科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	病理診断科	救急科	集中治療科	麻酔科	臨床腫瘍科	総合診療科	計
医師数	7	10	8	2	5	2	10	2	4	5	2	8	8	3	5	4	1	3	9	2	2	1	5	2	3	113
うち指導医数	3	6	6	2	4	1	10	2	4	4	2	4	5	2	4	4	1	2	8	2	1	1	5	2	2	87



● 専門研修について

希望に沿って柔軟にカスタムできるプログラム



内科専攻医として当院の内科専門研修プログラムで研修を行っている、奥村友です。県内の病院で初期研修終了後に当院の内科専攻医として研修しております。

専攻医1年目は総合診療科、糖尿病代謝内科、呼吸器内科、循環器内科でそれぞれ3ヶ月ずつ研修させていただきました。また、私の希望で通年の外来枠をいただき、他の診療科で研修しながらも、毎週火曜日は糖尿病代謝内科外来に加えて院内外からの糖尿病代謝内分泌分野の紹介患者の診療を行っております。病棟業務や救急患者対応の業務が中心の若手医師にとって一般外来での日常診療はとても貴重であり、その難しさを実感しつつも非常に実りのある研修を行っております。私のように初期研修期間だけでなく専攻医期間でもスーパーローテートする医師は徳島では多くはないですが、この内科専攻医としてのスーパーローテート期間の経験が今後内科医として活動するにあたり非常に重要な経験になると考えております。

● 専門研修プログラム例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	県立中央病院											
	循環器内科		糖尿病・代謝内科		消化器内科		救急科					
2年目	総合診療科		呼吸器内科		脳神経内科		血液内科					
3年目	県立三好病院または県立海部病院											
	内科											
4~6年目	サブスペシャルティ専門研修											



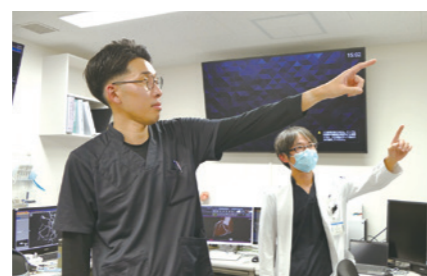
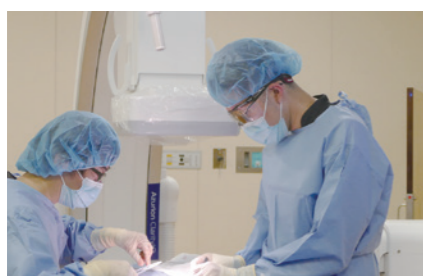
各研修領域の更に詳しい内容は、徳島県立中央病院WEBサイトをご確認ください。

専門研修を修了して…

内科研修・循環器研修を終えて、豊富な症例経験や積極的な学会・ワークショップ参加など、自分の医師人生の柱となる経験ができました。



内科専門医
循環器専門医
山本 博貴



● 令和7年度 初期臨床研修医募集要項

応募資格 令和7年3月 医師免許取得見込者

募集人数 1年次：10名 ※予定

研修期間 令和7年4月1日から2年間

選考方法 小論文及び面接／マッチング方式により採否を決定

申込期間 令和6年6月3日(月)～7月12日(金)必着

選考日 7月26日(金)または8月8日(木) ※予定

提出書類等 選考申込書を当院HP(ページ下のQRコード)からダウンロードしてください。
※募集人数・選考日等が変更となる場合がありますので、お申し込みの前にHPにて最新情報をご確認ください。

申込方法 封筒オモテに「臨床研修医」と朱書き、選考申込書を簡易書留郵便で送付してください。
持参される場合は、平日(午前9時～午後5時)にお願いします。



給与 1年次 年額 550万円～600万円程度
2年次 年額 560万円～610万円程度
地域手当、超過勤務手当、通勤手当、当直手当、賞与年2回含む

休日休暇 休 日：土・日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)
休 暇：有給休暇20日/年
夏季休暇3日、その他特別休暇あり

社会保険 公務員共済(短期)、厚生年金※、雇用保険※、労災保険※
※一定期間経過後は、公務員共済(長期)、退職手当、公務災害

研修等 基準内での学会・研修などの旅費・参加費の支給あり

身分 フルタイム会計年度任用職員

労務管理 勤務時間 7時間45分(8:30-17:15) 週休2日制
年間最大想定時間外・休日労働時間A水準予定

その他 病院見学は随時受付

提出及び
問い合わせ先 宛先：徳島県立中央病院事務局総務担当
住所：〒770-8539 徳島県徳島市蔵本町1丁目10-3
電話：088-631-7151(内線2715)
E-mail：kenshu@tph.gr.jp



詳細は、当院HPにてご確認ください。
当院HPの初期臨床研修医募集ページにて、
研修内容についてのご紹介や、先輩研修医からのメッセージを掲載しております。



@tokushima_kenchu_hospital



当院の最新情報をチェック!
左のQRコードからアクセスしてご覧ください!